

京丹後市  
初議会

# 日本共産党京丹後市会議員団 主人公は住民の立場でがんばりました

こんにちは、日本共産党京丹後市会議員団です。京丹後市の初議会が6/2～7/7まで開かれました。議会だより創刊号をおとどけします。ご愛読いただきますようお願いいたします。

## 本 会 議

=16年度予算=

### 市民への負担増で暮らし圧迫

中山市長の提案予算で、「弥栄では水道料が上がって大変、保育料が月16000円も上がった」、「丹後町では、国保税がたかくなった」、「市バスがいろんな行事に使えなくなった」「福祉タクシーが利用できない」、合併してもちっともいいことはない不安の声がたくさん聞こえてきます。

合併でサービスは高く、負担は低くという理念はくずれ市民への負担増が目立ちます。各町で行われてきた独自政策が廃止される予算となっています。たとえば網野の住宅改修助成制度や丹後、峰山で行われてきた若者定住政策も廃止です。

また、原発立地については、環境との関係でなじまないと言いつつ、電源立地対策交付金は例年通り予算化されています。



日本共産党議員団は、暮らしを圧迫する予算であり、原発の予算も引き続き計上されていることから、一般会計、国保会計、簡易水道、水道会計については反対をしました。

### 十分な検討もなく提案

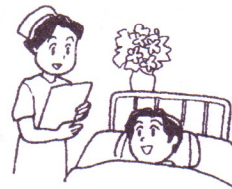
#### 市長給与2割カット(05年3月まで)

多くの議員から「助役より市長の給与が安くなる」「パフォーマンスだ」「合併協議の中で近隣市との整合性も含めて十分議論された金額だ」「職員など他に与える影響が大きい」など批判的な意見が出されました。

日本共産党議員団は3役もまだ決まっていない時点での提案であり、十分な議論もなされておらず助役の給与より低くなり他に与える影響も大きい事から反対しましたが、25人の賛成で可決されました。

### 病院・学校など、過半数で廃止！

市の施設を廃止する場合特に重要と認められるものは、3分の2以上の同意で決めるように条例で定めることができますが、今回の条例は「重要」とされる施設が水道関係のみで、旧町時代に含まれていた、病院、学校、保育所などが含まれていません。



病院・学校・保育所等が出席議員の過半数の議決で廃止となります。これでは、住民の多数の意思に反して重要な施設が廃止される可能性が大きくなり、民主的な行政という点から見ても大問題であり反対しました。

### 子どもの医療費の無料化 小学校卒業まで拡充される

選挙期間中も訴えてきました。高校卒業までの医療費の無料化、合併の目玉だと宣伝されてきたのだから約束どおり実施すべきだと追求しましたが、財政的なこともあり、今後状況を見て検討する。との答弁でした。



また、乳幼児の制度と異なり、窓口でいったん全額を支払い、後日申請をして受け取らなくてはなりません。乳幼児と同じように「現物支給」にするように市長に迫りましたが、「税金は空気ではない子育てをがんばろうとの意識をもっていただきたい。」と忙しい子育て最中のお母さんの思いは理解してもらえませんでした。

高校までにならなかったこと、申請しなければならぬこと、問題のある制度ではありますが、子育て支援の一步前進と認め賛成しました。

日本共産党

京丹後市議会だより

日本共産党京丹後市会議員団

2004年 7月26日

NO 1

京丹後市峰山町荒山  
日本共産党丹後地区委員会  
TEL 0772-62-1159

ご意見など お気軽に連絡下さい

松田 せいけい TEL 82-0755

森 まさる TEL 72-1761

平林 ちえみ TEL 65-3663

